

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜城北高等学校

学校番号

8

I 自己評価

1 学校教育目標	確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成します。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	・主体的に多様な人と協働して学び、生きて働く知識・技能を身に付け、課題を発見し解決に取り組む生徒 ・心身の錬磨を図り、個性を尊重し、奉仕の精神を養い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・社会の変化に柔軟に対応し、地域や社会の課題に取り組む、地域社会の発展に貢献できる生徒	・生徒一人一人がキャリアデザインを具体的に描き、自己実現が図れるよう、各学科の特色ある教育活動を推進し、専門性を深化させるとともに、キャリア教育を推進 ・「主体的・対話的で深い学び」を推進し、知識・技能を習得させ、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む態度を育成 ・基本的な生活習慣の確立と自他の生命を尊重する態度を育て、生徒一人一人の個性を伸ばし、深い学びを実現するための社会に開かれた教育課程の編成と個に応じた指導の実施	・基本的な生活習慣が身に付いており、向学心を持ち、学校行事、生徒会活動、部活動などの活動に積極的に参加し、多様な人と協働して学ぶことができる生徒 ・進路実現に向かって継続的に努力し、多様な学びや資格・検定、コンクールに主体的に取り組む、自らの可能性を拓く意欲のある生徒 ・部活動でスポーツ活動または文化活動で優れた能力を有し、入学後も継続して活動する意欲のある生徒

3 評価する領域・分野	◇教務部	
4 現状の分析	<p>○教職員に関する項目のうち、「熱心に学習指導に取り組んでいる先生が多い」88.1%、「専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い」84.8%、「教え方や説明が分かりやすい先生が多い」81.7%など、80%を超える項目が多く、高評価が得られた。</p> <p>○学習指導に関する項目のうち、「テストのみならず、様々な面からの学習評価を行っている」83.3%、「ICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会が学習内容の理解に繋がっている」83.2%など、一部で高評価が得られた。</p> <p>▲総合的な探究の時間や科目「課題研究」の内容・有益性といった学習指導の項目や一斉配信メールの活用、授業や学校行事等を参観する機会の設定といった家庭との連携に関する項目では評価が低かった。</p>	
5 学校の抱える課題	<p>◇「育てたい生徒像」を踏まえた探究的な学びの機会、生徒の将来を見通した学びの場が不足している。</p> <p>◇生徒の学習習慣が身に付いておらず、また、学力定着が不十分であり、成績不振者・欠課過多の生徒が多い。</p> <p>◇中学生・地域への情報発信が不足しており、本校に対する理解が進んでいない。</p>	
6 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学力の定着を図り、目的をもって自主的・主体的に学ぶ意欲や態度の育成を目指す。学習活動の重要性を認識させるとともに学習方法について触れ、生徒の学習活動に対する意欲を喚起する。 ・授業を大切にし、生徒一人一人が授業で充実感をもてるような指導方法の工夫、分かる授業、活気溢れる授業に努める。 ・学びが魅力的なものとなるよう、特色ある教育課程を編成する。 ・各教科の目標を照らし合わせ、観点別評価方法を研究・実践する。 	
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 授業評価アンケートや公開授業週間等を通じて授業改善を行うとともに、生徒には授業や定期考査等にじっくりと取り組ませることで学習内容の定着をはかる。 (2) 学校行事や各種の企画を通じて、校外・地域に向けた広報活動を推進する。 (3) 探究学習、新しい学びの場・機会の設定に向けて校内での議論を推進する。	(1) 授業評価アンケート結果 成績不振者数、欠課過多生徒の推移 (2) 高校見学会アンケートの結果 (3) 探究学習、新しい学びの場の設定等に関する準備の進捗状況	
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートの実施、定期考査出題範囲表の作成ならびに生徒への周知(2週間前)、成績不振者指導の実施、教務内規の見直し ・中学校での学校説明、中学生を対象とした高校見学会の実施、岐阜城北わいわい広場の開催 ・探究学習、新しい学びに係る小委員会を設定、学びの形の検討 	<p>①生徒が充実感をもてるような指導ができているか、成績不振者が昨年度よりも減少したか</p> <p>②中学生等の本校に対する理解が深まったか</p> <p>③関連する教材の選定、年間指導計画の立案等が進んだか</p>	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>

12 成果 ・課題	<p>○熱心に学習指導に取り組む先生が多く、専門的知識が豊富、分かりやすい授業が展開されていると生徒から概ね評価されている。引き続き、ICT機器の適切な活用方法の検討を含め、「分かる授業」の実践に努めたい。</p> <p>○中学生を対象とした高校説明会等、コロナ禍前の形で実施することができ、アンケート結果からも好評であった。引き続き、ホームページ等を含めて、広報の在り方を検討しながら、工夫・改善をはかりたい。</p> <p>▲生徒の学習習慣の確立には課題が残り、成績不振者・欠課過多の生徒が多い。生徒が自主的・主体的に学ぶ意欲や態度の育成に向けて検討したい。</p> <p>▲IT技術の活用・協働的な学び 物事を深く探究し、そこから得られた結果を自らの言葉で表現・発信する力を育成できるような力が求められているが、それらを十分に身に付けることができる環境の整備が追い付いていない。</p>	<p>総合評価</p> <p>A (B) C D</p>
13	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査に関する内規の見直し、観点別評価の在り方、分かる授業の実践等に引き続き取り組むとともに、生徒がより一層、学習活動の重要性を認識し、学習習慣が身に付くことを目指した効果的な取り組みを早急に検討・実践したい。 探究学習の内容の充実、学校設定教科・科目の設定などにより、生徒が主体的・協働的で深い学びができるような環境を整備し、岐阜城北の魅力を高めたい。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和6年2月5日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒たちが前向きに頑張れるのは「好き」だからである。多様な系列、コースがあり、少人数のクラス編成で専門的な内容を大変興味をもって学習できる環境がある。 中学生や地域に対してOBやOGをうまく活用し、学校をPRしてはどうか。岐阜城北高校の魅力が十分に伝えきれていない。保護者に対しても情報発信の方法を工夫していく必要がある。 外部の専門家の方に教えてもらうことも大切である。生徒の目の輝きが違う。友人や先生のほかに、外部の大人や子ども、地域の人との関わりは、生徒をととても成長させる。協力したいと思っているので、いろいろと相談してほしい。
--